

計 画 の 各 論

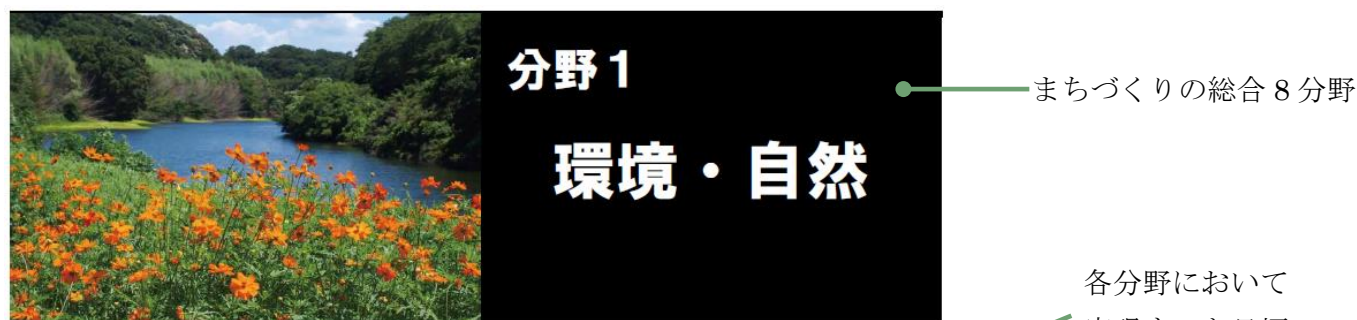
目次

1	環境・自然	16
2	安全・安心	37
3	健康・福祉	58
4	子ども・教育	81
5	地域社会	103
6	文化芸術・スポーツ	114
7	都市・交通	125
8	地域経済	162

●各論の見方

1 全体の構成

各論は、8つの「まちづくりの総合分野」、23の「政策」及び67の「施策」で構成し、施策ごとに「施策の展開」と「計画事業」を記載しています。



分野目標：気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します

政策体系

1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

施策（67）

1-1-1 地球温暖化対策の推進

1-1-2 自然環境・生活環境の保全

※単語の右上に「P〇〇」があるものは、用語解説があることを意味し、数字は「参考資料5．用語解説」（191 ページ～）の該当ページを指します。（例：「温室効果ガス^{P193}」は、「温室効果ガス」の用語解説が 193 ページにあることを意味します。）

2 成果指標

政策ごとに、目標年次である令和7年度末（2025年度末）に市として実現すべき成果を数値で「基本目標」として設定するとともに、施策ごとに、「基本目標」の達成に向けて実施する具体的な取組みの進捗状況を検証するための数値を「重要業績評価指標（KPI）」として設定しています。

（指標数：基本目標 40 指標、重要業績評価指標（KPI） 149 指標）

また、政策ごとに関連する SDGs^{P209} のゴールを記載しています。

1-1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

【関連する SDGs の目標】



【基本目標】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
温室効果ガス排出量削減率	%	〇〇	〇〇
市民1人1日あたりの一般廃棄物総排出量	グラム	〇〇	〇〇

政策に関連する
SDGs のゴール

1-1-1 地球温暖化対策の推進

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
再生可能エネルギー等の導入量	メガ ジュール	〇〇	〇〇
脱炭素社会の実現に向けた連携協定締結数	件	〇〇	〇〇
次世代自動車導入事業等補助金交付件数	件	〇〇	〇〇
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH） 普及促進事業補助金交付件数	件	〇〇	〇〇

計画開始時点に
おける最新の実績

計画終了時点に
実現すべき目標

3 計画事業

計画事業とは、千葉市基本計画に示す「まちづくりの基本方針」の実現に向けて、計画期間（令和 5～7 年度〔2023～2025 年度〕）に実施する事業です。新たに取り組む事業や、今までより拡充する事業を中心に位置づけています。

- ・【新規】は、第 1 実施計画で新たに取り組む事業。
- ・【再掲】は、複数の施策に該当する事業。（主たる施策以外の施策に掲載する場合に表記。）
- ・担当課の名称は、令和 5 年（2023 年）4 月 1 日時点。

計画事業名		新規事業又は R4 年度末実績がない場合、現況は「－」と記載	
計画期間の取組みの具体的な内容		計画期間の取組みの具体的な内容	
□△の推進【新規・再掲】		〇〇課	
□△のため、○△□△を行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
□△の調査	—	実施	完了
○△○△の支援	10 団体/年	継続	10 団体/年

計画期間（令和 5～7 年度）に取り組む項目

計画期間終了時に実現している状態

継続する取組みの場合、計画内容は「継続」と記載

事業量の見方

<取組み内容等を示す場合>

□△の導入		〇〇課	
□△のため、○△□△を導入します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
○△○△の導入	調査・検討	○△○△の導入	○△○△の導入

<各年度単位で事業量を示す場合>

□△の推進		〇〇課	
□△のため、○△□△を助成します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
○△○△の助成	10 件/年	20 件/年増	30 件/年

計画前年度の年間事業量①

年間事業量の増加分②

計画終了時における年間事業量③
(①+②=③)

<計画期間中の事業量を示す場合>

□△の整備		〇〇課	
□△のため、○△□△を整備するとともに、○△□△を設置します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
○△○△の整備	40 箇所	30 箇所	70 箇所
○△○△の設置	20 個	60 個増	80 個

計画前年度までの累積事業量①

計画期間中の事業量の増加分②

計画終了時における累積事業量③
(①+②=③)

<計画期間中の事業量を示す場合（計画前年度までの累積事業量の記載になじまない場合）>

□△の整備		〇〇課	
□△のため、○△□△を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
○△○△の整備	15 路線 (令和 4 年度事業量)	12 路線	12 路線

計画前年度の事業量

計画期間中の事業量の増加分



分野 1

環境・自然

分野目標：気候変動に対応し、豊かな自然と共生する持続可能なまちを実現します

政策体系

1－1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る

- 1-1-1 地球温暖化対策の推進
- 1-1-2 自然環境・生活環境の保全
- 1-1-3 環境負荷に配慮したごみの削減と適正処理

1－2 緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

- 1-2-1 緑と水辺の活用と充実
- 1-2-2 緑の保全と創出
- 1-2-3 水辺環境の保全と活用

【関連する SDGs の目標】



【基本目標】

EV 充電設備

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
温室効果ガス ^{P193} 排出量削減率（2013 年度比）	%	13.3※	25.3
市民 1 人 1 日あたりの一般廃棄物総排出量	グラム	947	921

※ 平成 30 年度（2018 年度）実績値

1-1-1

地球温暖化対策の推進

施策の展開

- 地球温暖化の進行により、災害の激甚化をはじめとした気候変動リスクが増大しています。千葉市においては、国による、いわゆる「2050 年カーボンニュートラル^{P193} 宣言」を踏まえ、令和 2 年（2020 年）11 月に「千葉市気候危機行動宣言」を公表し、2050 年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。
- そこで、市全体の脱炭素化^{P200}を進めるため、市民や民間事業者等に向けて、電動車^{P201}の導入や住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化^{P203}などを促進するとともに、市の公用車への電動車の導入や市有施設の再生可能エネルギー^{P196}の活用等、市役所内部の脱炭素化を進めます。
- また、二酸化炭素の吸収源対策として、谷津田^{P206}の森林整備を推進します。
- さらに、環境教育や若者向けの参画型プロジェクトを実施するとともに、市内で開催されるイベントを活用した割りばしの再資源化等により、脱炭素化・資源循環に関する一人ひとりの意識・行動変容を促します。

計画事業

エコ・モビリティの推進		環境保全課、脱炭素推進課	
低炭素型の交通システムを構築するため、EV ^{P208} 等の電動車購入や充電設備の設置に係る費用を助成し、普及を促進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
次世代自動車 ^{P197} 導入費用の助成	EV、PHV ^{P209} 169 件 FCV ^{P208} — (令和 4 年度事業量)	EV、PHV 405 件 FCV 18 件	EV、PHV 405 件 FCV 18 件
事業者向け充電設備設置費用の助成	—	21 基	21 基
カーシェア ^{P193} による EV 普及促進	—	実施	実施

住宅・建築物のネット・ゼロ・エネルギー化 ^{P203} の推進		環境保全課、脱炭素推進課	
住宅・建物からの CO2 排出削減や省エネルギー化を推進するため、ZEH ^{P209} 等の助成件数を拡充するとともに、ZEB ^{P209} を導入する事業者への融資制度を導入します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
ZEH、ZEB 導入費用の助成	ZEH 100 件/年 省エネ最適化診断 30 件/年 ZEB プランニング 1 件/年	ZEH 継続 省エネ最適化診断 20 件/年増 ZEB プランニング 2 件/年増	ZEH 100 件/年 省エネ最適化診断 50 件/年 ZEB プランニング 3 件/年
ZEB に係る融資制度導入 (利子補給)	—	運用開始	運用開始
住宅や建築物に係る 条例整備の検討	—	条例改正	条例改正

市内事業者の脱炭素化支援・エコパートナー ^{P192} の推進【新規】		脱炭素推進課	
市内事業者の企業活動における自主的な取組みを促進するため、脱炭素経営に向けた支援を行うとともに、事業者との連携を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
中小企業への環境経営支援	検討	実施、効果検証	実施、効果検証
連携協定の締結	—	100 者	100 者

公用車への電動車 ^{P201} 導入の推進【新規】		管財課	
脱炭素化 ^{P200} に向けた市の率先的な取組みとして、公用車への EV ^{P208} 等の導入を推進するとともに、充電設備を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
公用車への EV 等の導入	34 台	191 台増	225 台
本庁舎等における充電設備の設置	4 基	85 基増	89 基
公用車台数の適正化	－	15 台削減	15 台削減

電動ごみ収集車の導入【新規】		収集業務課	
ごみの収集運搬における脱炭素化を進めるため、EV 等の環境にやさしいごみ収集車の導入を推進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
環境事業所への電動ごみ収集車の導入	—	1 台 効果検証	1 台 効果検証
ごみ収集事業者への次世代自動車 ^{P197} の導入促進	—	研究・検討、意見交換	研究・検討、意見交換

都市型再生可能エネルギーの導入【新規】		脱炭素推進課	
市域内での再生可能エネルギー ^{P196} 創出を推進するため、市有施設の建物壁面への太陽光発電設備及びカーポート充電設備の設置に向けた実証実験を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
建物壁面への太陽光発電設備の導入	－	モデル実施	モデル実施
市有施設へのソーラーカーポート設置	－	モデル実施	モデル実施

市有施設における電力の CO2 フリー化【新規】		脱炭素推進課	
市有施設で使用する電力に再生エネルギーを活用するため、市有施設をはじめとした電力調達方法に係る調査等を行い、電力の再生可能エネルギーの活用を推進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
市有施設で使用する電力の再エネ化	調達手法の検討	実施	実施
CO2 フリー電力 ^{P208} に係る広域連携事業の検討	—	実施	実施

動物公園の環境負荷低減の推進【新規】		動物公園	
動物公園の環境負荷低減のため、飼育動物の糞尿や残餌を分解処理する消滅型有機物処理モデルを設置し検証するとともに、剪定枝等を粉碎した木質チップを燃料としたバイオマス ^{P204} 熱ボイラーを導入します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
有機物残渣等の生物分解処理	実証実験	モデル設置、効果検証	モデル設置、効果検証
バイオマス熱ボイラーの導入	調査	設置	設置

下水道の資源・エネルギー利用の推進		下水道経営課、下水道施設建設課	
下水道処理施設の温室効果ガス ^{P193} 排出量を削減するため、下水汚泥固形燃料化施設 ^{P195} の整備及び再生可能エネルギーの活用を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
汚泥燃料化施設の整備	－	燃料化施設 １基	燃料化施設 １基
再生可能エネルギーの活用推進	検討	太陽光発電施設整備 下水道地球温暖化防止推進計画策定 バイオマス利活用技術調査	太陽光発電施設整備 下水道地球温暖化防止推進計画策定 バイオマス利活用技術調査

脱炭素化 ^{P200} 推進に向けた谷津田の森林整備の推進		環境保全課	
CO2 の吸収源対策としても谷津田 ^{P206} の自然を活用するため、谷津田内の樹木の更新や県産材などを使用した施設整備を行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
森林整備	4 地区/年	継続	4 地区/年
標識の設置	8 地区	6 地区増	14 地区
大草谷津田の木製階段の更新	－	改修	改修

カーボンニュートラル ^{P193} ちば理解促進		環境保全課、脱炭素推進課	
市民をはじめとした多様な主体と連携し、市全体で脱炭素化 ^{P200} に取り組む社会を実現するため、千葉市地球温暖化対策実行計画を周知するとともに、様々な主体の意識醸成・行動変容を促します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
地球温暖化対策実行計画の周知	実施	継続	実施
脱炭素アドバイザーの派遣	検討	実施	実施
イベントの開催	啓発イベント 1 回/年 エコチャレンジの実施	啓発イベント 1 回/年増 新規啓発事業の実施	啓発イベント 2 回/年 新規啓発事業の実施

CO2 排出量可視化による脱炭素型ライフスタイルへの転換【新規】		脱炭素推進課	
多様な主体の脱炭素化への意識醸成・行動変容を促すため、新庁舎における ZEB ^{P209} 化の効果やカーボンフットプリント ^{P193} の周知など CO2 排出量の可視化に努めます。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
CO2 排出量の可視化	－	普及啓発	普及啓発

環境教育の推進		環境総務課	
誰もが自分ごととして環境問題を正しく理解し、解決に向けて協力して取り組む社会を実現するため、環境教育を推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
環境マイスター ^{P193} 制度の創設	－	実施	実施
学校・公民館における環境教育の推進	市立小・中学校 各６校/年 公民館 10 講座/年	継続	市立小・中学校 各６校/年 公民館 10 講座/年

ユース脱炭素参画プロジェクトの実施【新規】		環境総務課、環境保全課	
次世代を担う若者の脱炭素化に係る意識醸成を図るため、植樹体験やプログラミング等のコンテストを実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
植樹体験・環境ポスターコンクールの実施	—	実施	実施
キャラクターコンクール・プログラミングコンテストの実施	—	実施	実施
市への事業提案コンテストの実施	—	コンテスト実施 優秀提案事業の事業化	コンテスト実施 優秀提案事業の事業化

イベントを活用した域内エネルギー循環の創出【新規】		廃棄物対策課	
地域の脱炭素化を推進するため、イベントを活用した割りばしの再資源化により資源循環に係る意識醸成を図ります。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
イベントを活用した割りばしリサイクル	—	実施 ３件/年	実施 ３件/年

モノレール施設の脱炭素化及びグリーンインフラ ^{P195} の推進【再掲】		交通政策課	
モノレールの脱炭素化 ^{P200} を実現するため、回生電力 ^{P193} を有効活用できる新型車両の導入支援等を実施します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
回生車両への更新	－	2 編成更新	2 編成更新

営農型太陽光発電における農業生産技術の研究【再掲・新規】		農業生産振興課	
農業への再生可能エネルギー ^{P196} の導入と農業生産力の両立を目指すため、農政センターにおいて営農型太陽光発電 ^{P192} と両立した農業生産技術を研究します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
営農型太陽光発電による 栽培実証	検討	実証実験実施 営農型太陽光発電設備の設置	実証実験実施 営農型太陽光発電設備の設置

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
再生可能エネルギー等の導入量	ペタジ ュール	0.85	1.2
脱炭素社会の実現に向けた連携協定締結者数	者	0	100
次世代自動車 ^{P197} 導入事業等補助金交付件数	件	87	158
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH ^{P209} ） 普及促進事業補助金交付件数	件	43	100

施策の展開

- 千葉市には、古来より続く豊かな自然が残されており、東京圏において貴重なこの自然を次世代に繋いでいく必要があります。
- そこで、市民や市民団体等の多様な主体と連携しながら、谷津田^{P206}をはじめとした自然環境を保全するとともに、その活用を進めます。
- また、市民が健康に安心して暮らせるまちをつくるには、大気や水が清浄で安全なものであることが必要です。本市の大気や水質の状況については、直近の調査では河川に関する測定項目で環境目標値を達成しておりますが、一方で、大気や海域における一部の測定項目は未達成の状況が続いており、今後もさらなる施策の推進が必要であることから、引き続き、工場等からの排出ガス・排水状況の監視及び指導を継続するとともに、上水道布設や浄水器の設置に係る費用を助成します。
- 加えて、羽田空港の再拡張に伴う航空機騒音問題について、市民の良好な生活環境を確保するため、引き続き騒音の実態を調査するとともに、騒音の軽減に向け、国への申し入れ等を行います。

計画事業

生物多様性の理解促進と普及啓発		環境保全課	
生物多様性 ^{P199} に富んだ生態系を保全するための環境学習の機会を創出するとともに、市民への意識啓発を図ります。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
生物多様性の普及啓発	—	リーフレット 環境教育教材等作成	リーフレット 環境教育教材等作成
市民参加型生き物調査	実施	継続	実施

谷津田の保全と活用の推進		環境保全課	
自然豊かな谷津田を保全するため、谷津田の保全区域を拡大するとともに、保全団体等を確保し、谷津田の魅力発信等により活用を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
魅力発信と次世代の担い手の育成	—	プロモーション動画作成 出張授業等 ３校/年	プロモーション動画作成 出張授業等 ３校/年
保全協定の締結	61.68ha	6ha 拡大	67.68ha
保全団体等の確保	６団体	２団体増	８団体

上水道配水管布設等の促進		環境規制課	
地下水汚染が確認された井戸を飲用として使用する市民に安全な飲料水を確保するため、上水道布設や浄水器の設置に対する費用を助成します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
上水道配水管布設助成	２件/年	継続	２件/年
浄水器設置費助成	15 件/年	継続	15 件/年

大気保全対策の推進		環境規制課	
空気のきれいさを確保するため、大気汚染物質を常時モニタリングするとともに、法令等に基づく工場・事業場への規制・指導や自動車の排出ガス対策を実施します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
立入検査の実施	60 件/年	継続	60 件/年
大気汚染物質のモニタリング調査	測定・成分分析 計 34 地点 常時モニタリング 28 測定局	継続	測定・成分分析 計 34 地点 常時モニタリング 28 測定局

水質保全対策の推進		環境規制課	
川・海・池のきれいさを確保するため、公共用水域における水質を常時モニタリングするとともに、法令等に基づく工場・事業場への規制・指導を実施します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
立入検査の実施	70 件/年	継続	70 件/年
公共用水域モニタリング調査	30 地点/年	継続	30 地点/年

航空機騒音問題への対応		環境規制課	
騒音等を低減し静けさや心地よさを確保するため、航空機騒音の状況を常時モニタリングし、市民向けの情報提供を速やかに行うとともに、国に改善を要請します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
航空機騒音の測定	4 地点/年	継続	4 地点/年
市民への情報提供	1 回/週	継続	1 回/週

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
谷津田 ^{P206} の保全活動等の参加者数	人	167	290
大気環境目標値（健康項目）達成率	%	95.5	100.0
水質環境目標値（健康項目）達成率	%	100.0	100.0
水質環境目標値（生活環境項目）達成率	%	72.2	100.0

施策の展開

- 千葉市では、家庭ごみ手数料徴収制度の導入や、古紙等の分別回収・再資源化など、市民及び事業者との協働により、ごみの減量・再資源化に取り組んできたことから、総排出量は減少傾向にあります。
- しかし、市民一人一日あたりの総排出量をみると、首都圏政令市の中では相対的に多い状況であり、さらなるごみの減量・再資源化につなげるため、環境教育等による啓発を実施するとともに、家庭用生ごみ減量処理機購入に係る費用への助成件数を増やすほか、安定したごみ処理体制を構築するため、清掃工場等のごみ処理施設の整備を推進します。
- また、不法投棄を防止し適正なごみ処理を推進するため、監視カメラの設置により早期発見・早期是正を図ります。

計画事業

3 R教育・学習の推進		廃棄物対策課	
循環型社会の構築に向け、3R ^{P207} のうち発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）を優先するごみ減量の意識づけを促すため、未就学児、児童や学生等を対象とした啓発活動を行います。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
へらそうくんルームの実施 （未就学児）	12 か所/年	継続	12 か所/年
ごみ分別スクールの実施 （小学4年生）	108 校/年	継続	108 校/年
ワークショップの実施 （高校生以上の学生）	2 回/年	継続	2 回/年

ごみの発生抑制・再資源化の推進【新規】		廃棄物対策課	
ごみの発生抑制・再資源化を推進するため、家庭用生ごみ減量処理機の購入費助成件数を増やすとともに、食品ロス ^{P198} 、プラスチックごみの削減に資する市民の行動を促進します。			
取組項目	令和4年度末現況	計画内容	令和7年度末目標
生ごみ減量処理機購入費用 の助成	350 基/年	50 基/年増	400 基/年
生ごみ肥料化容器購入費用 の助成	350 基/年	継続	350 基/年
乾燥処理物の再資源化	—	拠点回収協力店舗等 3 か所	拠点回収協力店舗等 3 か所
食品ロス・プラスチックごみ 削減に向けた普及啓発	イベント等実施	継続	イベント等実施

廃棄物処理施設の整備推進			廃棄物施設整備課	
将来にわたり安定したごみ処理体制を構築するため、清掃工場、リサイクル施設、最終処分場等の整備を推進します。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
清掃工場の整備	北谷津用地	工事	継続	整備完了
	新港用地	基本計画策定	事業者契約 環境影響調査	事業者契約
リサイクル施設の整備		調査	基本計画策定 PFI 等導入可能性調査	基本計画策定 PFI 等導入可能性調査
最終処分場の整備	浸出水処理施設	—	工事	整備完了
	最終処分場	候補地選定	基本計画策定 用地測量	基本計画策定 用地測量

監視カメラによる不法投棄対策		産業廃棄物指導課	
不法投棄多発地区での不法投棄防止及び行為者を特定し、早期是正を図るため、監視カメラを設置します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
赤外線照射カメラの設置	－（非公表）	台数増	－（非公表）

マイクロプラスチック実態調査の実施		廃棄物対策課	
市民に対してマイクロプラスチック ^{P205} の現状と問題点を発信し、市民のプラスチックごみ削減に向けた行動変容を促すため、マイクロプラスチック実態調査を実施します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
実態調査	－	実施	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
一般廃棄物の焼却処理量	トン/ 年	232,690	227,000
一般廃棄物の再生利用率	%	33	33

1-2

緑と水辺を身近に感じ、愛着の持てる環境を創る

【関連する SDGs の目標】



【基本目標】

稲毛海浜公園（リニューアル後パース）

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
緑と水辺のまちづくり活動への参加度	%	29.6※	34.8
緑被率 ^{P207}	%	48.6	現水準を保つ（±1%）

※ 令和 4 年度（2022 年度）実績値

1-2-1

緑と水辺の活用と充実

施策の展開

- 千葉市の市民一人あたりの都市公園面積は、首都圏政令市において第 1 位となっており、市民の憩いの場として親しまれています。
- 千葉公園をはじめとする大規模公園 ^{P199} については、引き続き、積極的な民間活力の導入等により活性化を図るとともに、適切な機能更新を実施し、魅力の向上を図ります。
- 動物公園については、集客観光施設として、リスタート構想に基づき、動物科学館の展示をリニューアルするとともに、新たに湿原ゾーンの整備を推進します。また、みなと公園については、市役所本庁舎周辺の魅力あるまちづくりを進めるため、多様な主体の参画により、公園全体の再整備の方向性を整理します。
- 市民の日常生活に密着した身近な公園を整備するとともに、快適性向上のため、トイレ等の施設の機能更新を行います。
- また、生活に近い市街地にある身近な農地について、計画的な保全と活用を図り、農と住の調和したゆとりある良好な都市環境の形成を推進します。

計画事業

千葉公園の再整備		緑政課	
千葉公園の魅力向上及び周辺地域の活性化を図るため、再整備を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
賑わいエリア整備	－	整備	供用開始
やすらぎゾーン整備	－	整備	供用開始
水辺ゾーン整備	－	整備	整備

オオガハスの魅力発信			緑政課	
オオガハス ^{P192} を活かしたまちづくりを進めるため、イベントの充実及び情報発信の強化を図るとともに、千葉公園を系統保存管理の拠点とし、市内の展示場所の整備及び栽培管理の人材育成を行います。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
イベントの 充実	大賀ハスマつり YohaS	開催	継続	開催
	サイン設置	—	千葉公園通りに設置	千葉公園通りに設置
情報発信の強化		蓮華亭展示リニューアル	PRアクションプラン策定 ゆかり地、分根追跡調査	PRアクションプラン策定 ゆかり地、分根追跡調査
観賞環境の 整備	系統保存維持管理	系統保存維持管理	継続	系統保存維持管理
	プランター展示	7 か所	1 か所増	8 か所
	学校分根	42 校	15 校増	57 校
	ハス守さん ^{P204} 講座	53 人	30 人増	83 人
	ハス守さん フォローアップ講座	—	10 名	10 名
	文化伝承事業	—	実施	実施
	コンパクトな拠点	—	整備	整備

千葉市蘇我スポーツ公園の充実			公園管理課	
市民のスポーツやレクリエーション活動の拠点として適切な管理運営を行うため、長寿命化計画を策定するとともに、フクダ電子アリーナの音響施設や運動施設等の改修を行います。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
長寿命化計画の策定		－	策定	策定
フクダ電子アリーナの充実		照明設備改修、 音響設備改修（実施設計）	音響設備改修	音響設備改修完了
魅力向上	ヒルスコート （テニスコート）	人工芝張替 10 面	人工芝張替 10 面	人工芝張替 20 面
	スクエア （人工芝広場）	－	防球ネット改修	防球ネット改修
	ランニングコース	－	舗装改修	舗装改修
	バックヤード	－	倉庫設置	倉庫設置

花島公園の魅力向上			花見川・稲毛公園緑地事務所	
花島公園の持つ資源を有効に活用した魅力向上のため、老朽化した施設の改修を行うとともに、自然観察会等のイベントを開催します。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
施設改修		園路・散策路修繕 木製デッキ修繕	園路・散策路修繕 長寿命化計画見直し 樹林地再生	園路・散策路修繕 長寿命化計画見直し 樹林地再生
イベント等の充実		自然観察会 ３回/年 写真展 １回/年 健康づくり講習会 １回/年	継続	自然観察会 ３回/年 写真展 １回/年 健康づくり講習会 １回/年

泉自然公園の魅力向上		若葉公園緑地事務所	
泉自然公園の豊かな自然を活かした魅力向上のため、老朽化した施設の改修や自然環境の質の向上に取り組むとともに、民間事業者と連携したイベントを開催します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
園内インフラ設備改修	—	園路、給水管路 電気設備改修	園路、給水管路 電気設備改修
園内サインリニューアル	—	設置	設置
民間事業者との連携による イベントの開催	9 回/年	4 回/年増	13 回/年
ボランティア団体との連携	ヤマユリの名所づくり	継続	ヤマユリの名所づくり
園内樹林地の転換	倒木処理	樹木の伐採 外来樹木の間伐 在来種の補植	樹木の伐採 外来樹木の間伐 在来種の補植

都川水の里公園の整備		公園建設課	
緑と水辺のふれあいの場を創出するため、都川水の里公園の整備を進めます。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
用地取得	12.1ha	1.3ha	13.4ha
施設整備	－	基本計画の修正	基本計画の修正

昭和の森の魅力向上			緑公園緑地事務所	
昭和の森の魅力を向上し、公園の価値とポテンシャルを高めるため、老朽化した施設の更新や新たな花の名所づくり、森林の再生を進めます。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
森の再生と健全化		一部実施	森の再整備計画策定 森づくり活動育成支援 危険木の処理等	森の再整備計画策定 森づくり活動育成支援 危険木の処理等
花の名所づくり		一部実施	菖蒲田水路改修 湿性植物園の再整備 新たな花の名所づくり	菖蒲田水路改修 湿性植物園の再整備 新たな花の名所づくり
施設の 長寿命化	長寿命化計画	—	見直し	見直し
	遊具・ あずまや 四阿	—	更新	更新
	水道・電気・ 下水道・放送施設	調査	改修	改修

幕張海浜公園の活性化【新規】		緑政課	
幕張海浜公園の賑わい創出による更なる活性化を図るため、民間活力の導入による事業を行うとともに、定期的なイベント開催の検討などを行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
民間活力導入	民間事業者の公募検討	民間事業者による 活性化施設整備	民間事業者による 活性化施設整備
イベントの実施	－	民間事業者との連携検討	民間事業者との連携検討

稲毛海浜公園のリニューアル【再掲】			緑政課	
海辺の賑わいを創出するため、民間活力を導入して稲毛海浜公園のリニューアルを進めます。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
民間事業者 による施設 リニューアル	花の美術館	一部実施	改修	供用開始
	温浴施設	—	整備	供用開始
	グランピング ^{P195} 施設	—	整備	供用開始
	稲毛記念館	—	改修	改修

有料公園施設の改修		公園管理課		
有料公園施設の利用者の安全・安心や快適性の向上を図るため、青葉の森スポーツプラザ等の施設の適切な更新を推進します。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
青葉の森スポーツプラザ		公園施設改修設計	施設改修	施設改修
スポーツ施設の改修	ZOZO マリンスタジアム	施設改修	継続	施設改修
	花島公園	－	テニスコート改修	テニスコート改修
教養施設の改修	亥鼻公園集会所	あり方検討	建替	建替

動物公園リスタート構想の推進		動物公園	
市民に身近な動物園としての存在価値を高め、都市の活性化に繋げる集客観光施設としての再生を図るため、老朽化した動物科学館の展示改修を行うとともに、新たに湿原ゾーンの整備を推進します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
展示のリニューアル	一部実施	動物科学館展示改修 湿原ゾーン実施設計 森林ゾーン基本設計 大池測量・実施設計	動物科学館展示改修 湿原ゾーン実施設計 森林ゾーン基本設計 大池測量・実施設計
快適な園内環境の整備	一部実施	トイレ改修 園路改修 授乳室整備 駐車場キャッシュレス対応 混雑状況等配信	トイレ改修 園路改修 授乳室整備 駐車場キャッシュレス対応 混雑状況等配信
動物福祉に配慮した 既存施設改善案策定	検討	策定	策定

動物公園の施設改修		動物公園	
安全で快適な公園利用を確保するため、動物公園内の老朽化した施設整備を改修します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
長寿命化計画に基づく整備	長寿命化計画策定	動物病院補修 正門補修	動物病院補修 正門補修
給排水設備の更新	実施設計	実施	実施
運営設備の整備・更新	－	放送設備再整備計画策定 ホイールローダー ^{P205} の購入	放送設備再整備計画策定 ホイールローダーの購入

みなと公園の再整備【新規】		公園管理課	
バリアフリー化など、公園の機能を増進するため、みなと公園全体の再整備に係る基本的な考え方を整理します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
多様な主体の参画による 再整備の方向性の作成	意見聴取、検討	バリアフリー化に係る 特定事業計画策定 民活導入調査・検討 再整備の方向性（案）作成	再整備の方向性（案）作成

身近な公園のエリアリノベーション ^{P192} 【新規】		緑政課	
多様化するニーズに対応した公園づくりを推進するため、公園再編計画策定や、公園の柔軟な管理運営を行えるよう新たな運営方式の検討を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
公園の再編計画策定	調査研究	公園再編計画策定 モデル実施 ３件	公園再編計画策定 モデル実施 ３件
中間支援組織 ^{P201} の発掘・育成	—	実施	実施

身近な公園の整備		公園建設課	
魅力ある公園づくりを推進するため、市民の日常生活に密着した身近な公園を整備するとともに、市民が主体となって計画から整備・管理まで行う「手づくり公園」の設置を促進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
身近な公園の施設整備	街区公園 ^{P193} １か所	近隣公園 ^{P194} １か所	近隣公園 １か所
	(令和４年度事業量)	街区公園 １か所	街区公園 １か所
手づくり公園の設置促進	－	計画案策定支援	計画案策定支援

身近な公園のリフレッシュ推進			公園管理課	
公園の安全性や快適性の確保のため、老朽化した施設の更新や出入口等のバリアフリー化を推進します。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
長寿命化計画の策定・見直し		－	策定	策定
公園施設の 更新	遊具	一部実施	232 基	232 基
	遊具以外の施設	一部更新	6 施設	6 施設
	照明灯 LED 化	3,730 灯	30 灯増	3,760 灯
出入口等のバリアフリー化		実施設計 2 公園 改修 ー (令和 4 年度事業量)	実施設計 6 公園 改修 6 公園	実施設計 6 公園 改修 6 公園

身近な公園における新たな滞在環境の創出【新規】		公園管理課	
身近な公園の居心地の良さを高めるため、ベンチ等の休憩施設の改善や広場の芝生化などの取組みをモデル的に進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
モデル事業 （ベンチの設置、芝生化等）	候補地選定	モデル実施３か所 整備ガイドライン（案） の作成	モデル実施３か所 整備ガイドライン（案） の作成
保育所と公園広場の一体的な整備	関係者との協議・調整	実施設計、 整備完了	整備完了

公園トイレの快適化			公園管理課	
公園トイレの快適性の向上のため、便器の洋式化を進めるとともに、老朽化したトイレの建替えや設備等の改修を行います。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
(仮称) 公園トイレ快適化計画の策定		調査	策定	策定
大規模公園 ^{P199} の トイレ建替え等	泉自然公園	—	浄化槽の改良	浄化槽の改良
	昭和の森	トイレ建替え	継続	トイレ建替え
	稲毛海浜公園			
身近な公園の トイレの充実	洋式化	32 か所	75 か所	107 か所完了
	建替え	—	2 か所	2 か所
	改修	—	6 か所	6 か所

水(水辺)の特性を活かした公園の魅力向上【新規】			公園管理課	
身近な公園において、居心地のよい緑と水辺の充実を図るため、遊具やトイレ等の施設改修を行います。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
大百池公園 の施設改修	遊具広場整備	検討	実施	実施
	トイレ整備等		改修	改修
丹後堰公園 の施設改修	湿地整備	関係者との協議	護岸沿い湿地の環境改善	護岸沿い湿地の環境改善
	ウッドデッキ		改修	改修

農と住の調和したまちづくりの推進		都市計画課	
農と住の調和したまちづくりを推進するため、農地保全にかかる都市計画手法の検討及び生産緑地 ^{P199} 制度の周知・啓発を行います。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
農地保全に係る都市計画手法の検討	土地利用誘導方針（案）・用途地域指定基準（案）作成	土地利用誘導方針・用途地域指定基準策定 都市計画手法検討 住民等意向調査	土地利用誘導方針・用途地域指定基準策定 都市計画手法検討 住民等意向調査
生産緑地制度の周知・啓発	実施	継続	実施

動物公園の環境負荷低減の推進【再掲・新規】		動物公園	
動物公園の環境負荷低減のため、飼育動物の糞尿や残餌を分解処理する消滅型有機物処理モデルを設置し検証するとともに、剪定枝等を粉砕した木質チップを燃料としたバイオマス ^{P204} 熱ボイラーを導入します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
有機物残渣等の生物分解処理	実証実験	モデル設置、効果検証	モデル設置、効果検証
バイオマス熱ボイラーの導入	調査	設置	設置

だれもが遊べる広場づくり【再掲・新規】		公園管理課	
インクルーシブ ^{P191} なまちづくりを推進するため、モデル公園において、障害の有無などに関わらず、だれもが一緒に遊べる広場を整備します。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
広場の整備	調査・協議	モデル整備 1 か所	モデル整備 1 か所

街路樹植栽環境の適正化【再掲】		公園管理課	
良好な街並みの景観形成を図るため、大径木化、老木化した街路樹の植栽環境の適正化を進めます。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
危険木・支障木の伐採及び間伐	実施	継続	実施

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
大規模な公園の利用者数（有料施設）	万人	2,924	3,011
老朽化した遊具の更新数	基	727	1,007
生産緑地 ^{P199} 地区の新規・追加指定地区数	地区	2	2
動物公園入園者数	千人	689	700

1-2-2 緑の保全と創出

施策の展開

- 公有地の緑地が拡大している一方、生産緑地^{P199}や保存樹林^{P205}等の民有地における緑地は減少が続いており、市民が身近に緑を感じる環境の整備が必要です。
- 都市における緑を保全・活用するための取組みを進めるとともに、市民活動団体の支援や建築物の屋上壁面の緑化により、緑と花との関りを通じてまちの魅力を高める取組みを実施します。

計画事業

斜面緑地の保全		公園管理課	
公園・緑地内において、良好な自然環境を有する斜面緑地を維持するため、安全対策工事を行うとともに、適正な樹木管理等による法面の保全を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
急傾斜地 ^{P194} の安全対策	調査検討	詳細設計 ２か所 工事 ２か所	詳細設計 ２か所 工事 ２か所
斜面緑地の適正管理	若葉区 ７か所実施 緑区 ー	若葉区 継続 緑区 ２か所実施	若葉区 ７か所完了 緑区 ２か所完了

都市における樹林地の保全と活用		公園管理課	
都市における樹林を保全・活用するため、特別緑地保全地区 ^{P202} 内の用地取得や、緑地保全方針の策定に取り組むとともに、保全すべき樹林の更新など質の向上に資する事業を行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
用地取得	20.2ha	0.7ha	20.9ha
緑地保全基本方針の策定	調査検討	策定	策定
緑地別管理計画の策定	ー	計画に基づく管理開始 １か所 計画策定 ２か所	計画に基づく管理開始 １か所 計画策定 ２か所

緑と花を楽しめるまちづくり		緑政課	
都市において、潤いをもたらす「緑」と彩りを与える「花」のまちづくりを進めるため、花に関わる活動団体の支援やコンテスト等を開催するとともに、屋上壁面緑化の取組みを支援します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
花いっぱい市民活動の推進	496 団体	6 団体増	502 団体
緑と花のコンテスト	60 団体	6 団体増	66 団体
屋上壁面緑化への助成	4 件	3 件増	7 件

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和3年度末	目標値 令和7年度末
公園の管理・運営に関わる市民・企業等の団体数	団体	317	321
花いっぱい市民活動団体数	団体	498	502
オオガハス ^{P192} 関連イベント来場者数	人/年	15,900	30,000

施策の展開

- 日本一の長さを誇る人工海浜（稲毛の浜、検見川の浜、幕張の浜）の魅力を最大限に活かすため、平成28年（2016年）に策定した「海辺のグランドデザイン」に基づく取組みを、これまで進めてきました。
- 今後も、海辺の活性化を推進するため、稲毛海浜公園において、民間活力の導入によるリニューアルを進めるとともに、イベント等を開催します。
- 県立幕張海浜公園において、関係団体と連携し、賑わい施設を導入するとともに、イベントを開催し、幕張の浜の利活用を進めます。
- また、千葉中央港地区のまちづくりを推進するため、防犯カメラやベンチの設置等により、安全・安心かつ快適に港を利用できる環境を整備するとともに、地区内の関係事業者等と連携し、「さんばしひろば」のさらなる活性化に向けたイベントの実施や、クルーズの充実を図ります。
- これまで重点的に行ってきた海辺の魅力向上の取組みに加え、海辺と内陸部を繋ぐ川辺の魅力向上に向けた取組みを加速させる必要があることから、都川、花見川、鹿島川において、それぞれの特性を活かした保全活用の取組みを進めます。
- 特に花見川においては、花島公園や花見川団地といった周辺地域も含めた一体的な魅力の創出を図るため、花見川利活用のための施設を整備するとともにイベント等を実施します。

計画事業

海辺の活性化		緑政課	
海辺の活性化を推進するため、稲毛海浜公園検見川地区において、賑わいを創出する施設の導入を検討するとともに、市民と協働でイベントを実施します。また、県立幕張海浜公園へのにぎわい施設導入やイベント開催など、関係機関等と連携し、幕張の浜の利活用を進めます。			
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
稲毛海浜公園検見川地区の活性化	調査、協議・調整	事業者決定 イベント実施	イベント実施
県立幕張海浜公園における海辺の利活用	協議・調整	賑わい施設導入 イベントの開催	賑わい施設導入 イベントの開催

稲毛海浜公園のリニューアル			緑政課	
海辺の賑わいを創出するため、民間活力を導入して稲毛海浜公園のリニューアルを進めます。				
取組項目		令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
民間事業者 による施設 リニューアル	花の美術館	一部実施	改修	供用開始
	温浴施設	—	整備	供用開始
	グランピング ^{P195} 施設	—	整備	供用開始
	稲毛記念館	—	改修	改修

幕張海浜公園の活性化【再掲・新規】		緑政課	
幕張海浜公園の賑わい創出による更なる活性化を図るため、民間活力の導入による事業を行うとともに、定期的なイベント開催の検討などを行います。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
民間活力導入	民間事業者の公募検討	民間事業者による 活性化施設整備	民間事業者による 活性化施設整備
イベントの実施	－	民間事業者との連携検討	民間事業者との連携検討

千葉中央港地区まちづくりの推進			交通政策課	
賑わいや憩いのある港づくりのため、「さんばしひろば」にベンチや電気・音響設備等を整備するとともに、イベントの開催や更なるさん橋の活用を推進します。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
施設整備	防犯カメラ	3 台	1 台増	4 台
	バナー看板	イベント開催時設置	継続	イベント開催時設置
	ベンチ	—	整備	整備
	電気・音響設備	—	整備	整備
イベント・旅客船事業促進		補助金交付	継続	補助金交付

河川を活用したまちづくり		都市政策課	
河川沿川エリアの魅力向上を図るため、都川、花見川、鹿島川を中心に河川沿いの豊かな緑や田園風景などを保全するとともに、水辺空間や地域資源を活用したまちづくりを推進します。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
かわまちづくりビジョンの策定	—	策定	策定
先導的事業（魅力発信イベント等）	—	実施	実施

花見川の利活用			緑政課	
花見川の魅力を活用したまちづくりを推進するため、花見川利活用のための整備やイベント等の実施により、花見川の河川空間、花島公園周辺における一体的な魅力創出を図りつつ、花見川サイクリングコース等の充実を図ります。				
取組項目	令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標	
花島公園における活性化事業	調査 協議・調整	花見川利活用のための整備	花見川利活用のための整備	
花見川サイクリングコース等の 充実	検討	千本桜緑地周辺での 花畑づくり サイン・案内板の設置	千本桜緑地周辺での 花畑づくり サイン・案内板の設置	

都川水の里公園の整備【再掲】		公園建設課	
緑と水辺のふれあいの場を創出するため、都川水の里公園の整備を進めます。			
取組項目	令和４年度末現況	計画内容	令和７年度末目標
用地取得	12.1ha	1.3ha	13.4ha
施設整備	－	基本計画の修正	基本計画の修正

水(水辺)の特性を活かした公園の魅力向上【再掲・新規】			公園管理課	
身近な公園において、居心地のよい緑と水辺の充実を図るため、遊具やトイレ等の施設改修を行います。				
取組項目		令和 4 年度末現況	計画内容	令和 7 年度末目標
大百池公園 の施設改修	遊具広場整備	検討	実施	実施
	トイレ整備等		改修	改修
丹後堰公園 の施設改修	湿地整備	関係者との協議	護岸沿い湿地の環境改善	護岸沿い湿地の環境改善
	ウッドデッキ		改修	改修

【重要業績評価指標（KPI）】

項目名	単位	実績値 令和 3 年度末	目標値 令和 7 年度末
多自然川づくりの整備延長	m	9,719	11,759